



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ推進ニュース

－介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！－

8月末まであと30日 署名20万筆を達成しよう！

埼玉3,750筆 福井2,226筆 高知1,936筆 長崎3,479筆

－ 8月2日現在の到達87,871筆(あと112,129筆)－

署名目標を2,000筆に引き上げ！ 学習会で意思統一（高知）

○ 介護保険制度の見直し改善を求める署名1,936筆 ～署名が第1次目標1,000筆を突破！



7月28日（月）に介護ウェーブ学習会を開催、30名の介護職員が参加しました。10事業所から介護の事例報告が行われ、改めて介護崩壊の実態を学習することができ、2次目標2,000筆署名を集めることを再確認しました。

【ヘルパーステーション虹の発表から】

「前回の介護保険改正時には、予防給付が導入され、軽度の認定の方にはサービスが非常に使いづらくなりました。1時間4,020円の収入が、2,500円程度にさがってしまいました。当然、登録職員の給与にもダイレクトに反映されます。利用者が入院すればその日から仕事がなくなるうえ、何の保障もない……。（略）マンパワーで利用者を支援するヘルパーの仕事は、離職率ナンバーワン！！だそうです。（こんなことでナンバーワンにはなりたくない！！）やりがいだけでは限界があります。（略）施設や病院で20筆集めてくれた人や、趣味の会や地域の集まりに持参して50筆集めた人も。自分たちの職場の現状を語ることができ、利用者の方に充分に安心して介護が受けられる制度に変えたい思いを伝えれば賛同してくれる方は沢山いる感じます。8月末には350筆を目標に頑張ります。」

○ 署名の2次目標を2,000筆に引き上げました。署名の集約は8月末です。怒りを署名へ
【学習会での発言から】

○ヘルパーで地域を訪問していると、なんでこんなに貧しい人がいるんだろうと感じことがある。人間らしく生きるとはどういうことなんでしょう。

○自費でデイの日数を増やしている方がおられる一方、お金が無いので、機能訓練はしない。自費でのサービスは利用できない、の方はいいよねといわれる利用者さんがいる。お金のある無しで介護サービスに差が生まれている。

○認定された介護度と実際の状態に差がある。

○募集しても能力のある人材がみつからない。すぐに辞めてしまうため介護力のレベルアップがはかれない。

○要支援2になったため、福祉用具が利用できなくなった。介護ベッド3,500円、介助バー1,500円の計4,500円が個人負担になった。

○要支援1の認定に。軽すぎる。支援センターは自立を目標にしているが、明らかにレベルが落ちても変更申請には消極的…。

○高知市の訪問理美容サービスの申請を行ったが、現在の住所外の町のため、高知市のサービスの主旨にそぐわないと利用の許可が出なかった。

（高知民医連 介護ウェーブ推進ニュース No.02 2008.07.29 より）

現場から具体的な改善要求・提言を発信しよう！

「1000事例」「介護制度に対する改善要求・意見」締め切りを延期しました(受付中です)

「1000事例」「介護制度に対する改善要求・意見」の、第一次の集約締め切り日は7月31日でした。
引き続き集約は続けますので、具体的な事例、要求・意見を取りまとめ、国と自治体に向けて、現場から多くの声を上げていきましょう！

★事例ファイル *episode no.05*

「更新申請で介護度が重度になり、利用料が増えたケース」

○性別：男性 ○年齢：74歳 ○家族構成：夫婦のみ ○要介護度：要介護4

○現在利用している介護サービス：通所系サービス他

【介護サービスの具体的な利用状況について】

○認知症対応型のデイサービス（週3回） ○住宅改修

【本人の身体状況、具体的な困難や生活上の支障について】

アルツハイマー型認知症・脳血管性認知症で治療中。重度の認知症で、会話が成り立たず、排泄の仕方・食事の仕方も分からなくなっている。夜間はいろいろなところに排泄をしたり、トイレの場所が分からぬために目が離せず、妻の誘導や介助が必要である。妻は休む暇なく24時間付きっきりで見守り・介助を行っている。デイサービスの回数を増やしたり、ショーステイ利用の提案をするが、少ない国民年金でやっていかなければならないから・・・とサービスを増やすことに躊躇している。疲れはピークに達している。

【制度に対する問題意識や、改善が必要と考えられる点】

通所系サービスやショートステイは介護度によって、費用負担が違う。介護度が重度になるにつれて負担額が増え、利用回数は変わらなくても利用料が増える。

このケースの場合は今までの介護度（要介護2）に戻してもらえないかと相談があった。わずかな利用負担増でも国民年金生活者にとっても大きな影響を及ぼし、費用負担が大きくなることで必要なサービスが受けられない。利用料を気にすることなく、必要なサービス利用ができるような制度になってほしい。

★介護改善要求・意見ファイル ②

【要求のテーマ】利用

【事業所】グループホーム

【具体的な要求】当グループホームでは、連日入居申し込みの電話が鳴りやみません。

申し込み理由を聞くと、「老健から次を探せといわれている」「療養病床からの退院を迫られている」「特養に申し込んでいるが見通しが立たない」など、理由は深刻です。

グループホームの内容も知らず、「どこでもいいから入れたい」とい問い合わせもなくあります。国の制度の行き詰まりを感じます。

また、ヘルパー職員の募集を行なっても「給料が仕事に見合わない」「休みが少ない」など、介護職を離れて行く人が多く見られます。

利用者が安心して利用できる制度と整備、介護職員が責任を持って働く制度を国は行なうべきです。

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp